

令和6年度

地域とともにある学校づくり

保谷第一小学校 4年生

コミュニティ・スクールの充実

西東京ふるさと探究学習

単元名： 私たちの未来を守るために ～SDGsを実践しよう～
(活動名)

ねらい： 1, 2学期の学習を基に、SDGsの目標を自分達の住む町や保一小の中で
実現するにはどうしたらよいかを考え、自分達にできる取組を実践する。
自分達の活動が地域をより良くする力になり得ることを実感し、地域への愛
着を高めると共に、SDGsの意義や課題について考えを深める。

【いじめ・差別をなくそう】チーム

いじめや差別を経験した先生方にインタビューし、ポスターや動画を作りました。「いじめられていると感じている人の力になりたい」「いじめを発見した人に正しく行動してほしい」など、グループごとに対象や目的を考え、どうしたら多くの人に見てもらえるかも意識しながら取り組みました。



【ごみ・食品ロス^{ゼロ}を0に】チーム

「ごみゼロ」グループは西東京市のごみ減量推進課の方にインタビューしたり、通学路のごみ拾いをしたりしました。「食品ロス^{ゼロ}」グループは給食の残食を調べたり、残食の少ない給食の献立作りに挑戦したりしました。



【バリアフリー】チーム

「障害者や高齢者の皆さんが楽しく、安全に、暮らせるまちづくり」を目標に、活動していました。旧高橋家屋敷林保存会の皆さまやこの地域に長く住んでいる方々、西東京市役所の障害福祉課の皆さまにご協力いただきながら、チームごとに動画やクイズを作成し、発表しました。



【街の安全・緑化】チーム

「まちの自然を増やしたい」「安全な公園を増やしたい」という思いから、公園のごみ拾いを行ったり、自然の大切さを各学年に呼びかけたりしました。ポイ捨てされたごみの多さに驚きながらも、町をきれいにできたことに手応えを感じられ子供たちでした。



まとめ コラム

1, 2学期の学びから、児童一人一人が探究したいテーマを選び、チームごとに活動しました。活動の最後には、「自分達にできることは小さくても、数パーセントはSDGsの役に立ったと思う」など、多くの児童が活動を前向きに振り返っていました。「自分たちの町や学校をより良くしたい」という子供たちの思いと地域の方々のサポートが合わさったことで、より良い活動、より良い学びに繋がりました。